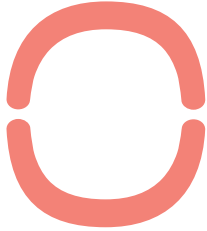


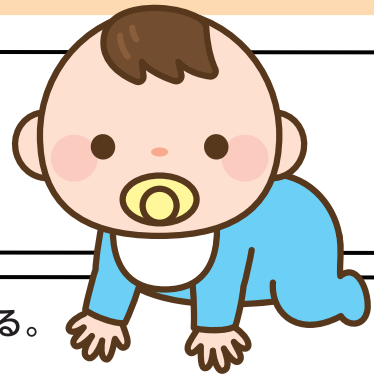
口唇食べ期

5~6ヶ月頃

お口の中



- 歯はまだ生えていません。
- 下の前歯付近の歯ぐきがふくらんで硬くなります。



体の発達

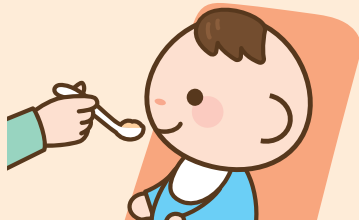
- 首すわりがしっかりとしている。
- 支えていると座れる。
- 食べ物に興味を示す。
- スプーンなどを口の中に入れても舌で押し出す事が少なくなる。

MEMO

お口の中と体の発達がこのように整ってきたら、いよいよ離乳食開始のタイミングです。この時期は口唇の力をつける重要な時期です。なめらかにした物を、お口を閉じて飲み込む、お口のしっかりと閉じる学習をしていきます。

食材のやわらかさは、初めはトロトロのポタージュ状からスタートして慣れてきたら少しねっとりとしたペースト状にしていきましょう。

食べさせる姿勢

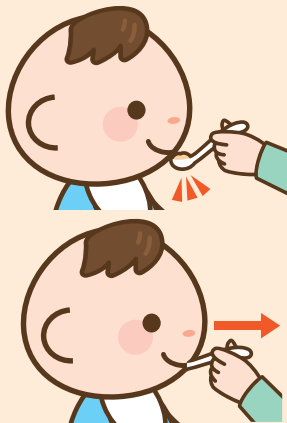


- 上半身は少し後ろに傾けると飲み込みやすい。
- お子さんの顔とスプーンがしっかりと見えるよう横 or 正面から食べさせてあげましょう。

※バンボは上半身を傾けることが出来ない
ので食事時は使わないようにしましょう。



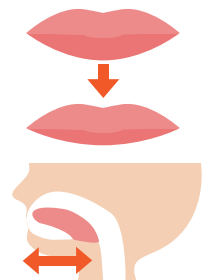
スプーンの使い方



- ① スプーンで下唇を優しくつついて「ご飯ですよ」などと声をかけながらスプーンを下唇に水平にのせる。
- ② スプーンの先 2 / 3 を口の中に入れる。
- ③ 口唇が閉じるのを待つ。
- ④ ごっくと飲み込むのを確認してからまっすぐにスプーンを引き抜く。

口唇を閉じて飲み込む時、上唇の形はそのまま下唇が内側に入ります。このようになっていたら上手く口唇の力がついていきます。

お口の中の舌は前後に動きます。



POINT

口唇をしっかりと閉じる事は咀嚼発達の重要なスタートです。